

屹立独行 Crane 1945 台北市立美術館所蔵 Collection: Taipei Fine Arts Museum  
二頭の鹿 (部分) A Pair of Deer (detail) 1970 国立歴史博物館(台北)所蔵 Collection: National Museum of History, Taipei

2011年  
10月13日(木) ~ 12月13日(火)

午前10時 ~ 午後8時  
(入場は午後7時30分まで)  
休館日: 水曜日  
主催: 福岡アジア美術館

13 October —  
13 December 2011  
Closed on Wednesdays

Open 10:00-20:00  
(Last Admission 19:30)



近代美術VI

# 山静郎 の写真



— 構成された伝統 —

Modern Artists VI

# Long Chinsan Photographs

## Composite Tradition



福岡アジア美術館 アジアギャラリーB  
Fukuoka Asian Art Museum



アジア各地で近代美術への道を切り開いた個人・グループを紹介する「近代美術」シリーズの第6回展として、上海と台北を中心に活動した郎静山[ロン・ジンサン](1892~1995)の写真作品を紹介します。

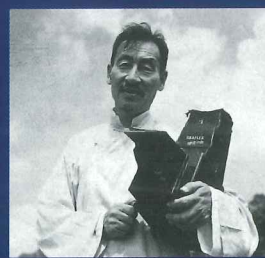
郎は、少年時代から写真を学び、上海で新聞社の写真や広告の仕事に就きながら、写真作品を発表し、1929年には中国最初期の写真家団体である「中華撮影学社(華社)」の設立に参加します。1930年代初頭には、世界各地の写真サロンに送った作品が入選し、また山・樹木・人物・動物などを個別に撮影したネガをひとつの画面にプリントするフォト・モンタージュ(集錦)技法による制作を始めます。自然と人間が一体となった理想的な風景

を作りだした集錦写真によって、郎は中国文化圏を代表する写真家として高い評価を受けるようになり、1950年に台湾に移った後も世界各地で発表を続けます。1966年に設立された「アジア影芸協会」では名誉会長に就任し、アジアの写真家たちの交流にも貢献しました。

記録・報道のための写真とは隔絶した、中国的ビクトリアリズム\*の究極といえる郎の写真は、写真という現代的な技術を用いながらも伝統的な中国絵画の美学を現代によみがえらせた点で、「伝統美術の現代的な再生」というアジア美術に広く見られる課題にひとつの解決を示したといえます。それとともに、彼の作品は、デジタル技術の普及によって写真や映像が自由自在に結合・編集さ

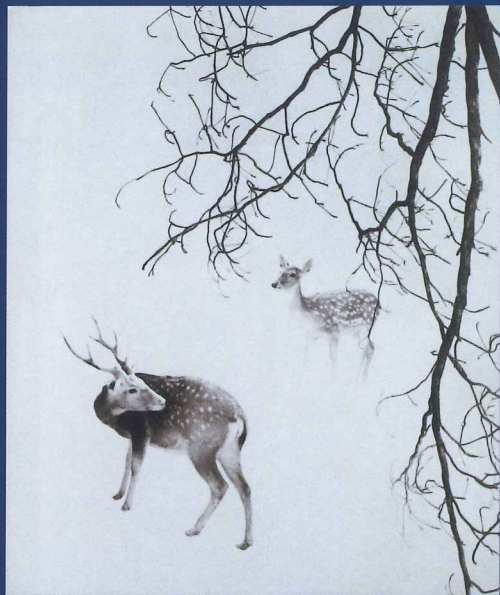
れる今日的なイメージの世界を予見したともいえます。

日本で初めて郎静山の作品を本格的に紹介する本展は、深い精神性とすぐれた造形性、そして先駆性によって、今なお新鮮な驚きと感動を与えてくれることでしょう。

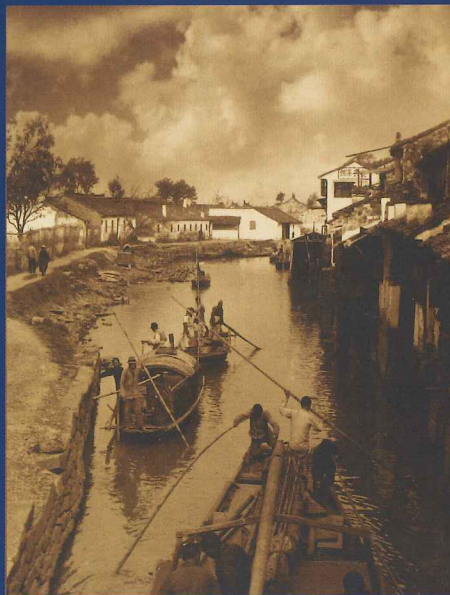


郎静山

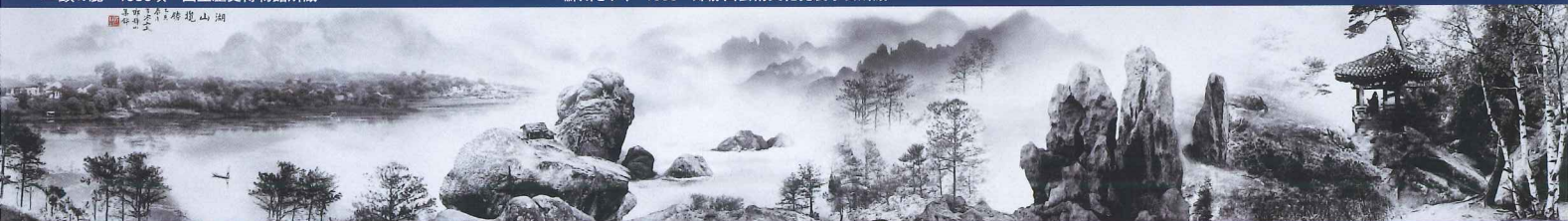
(\*ビクトリアリズム=絵画主義。19世紀末のヨーロッパで始まった、油彩画のような構図で被写体を構成して撮影した芸術写真)



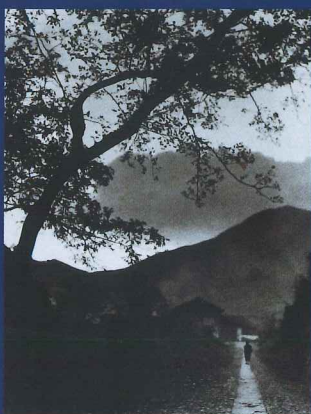
二頭の鹿 1930頃 国立歴史博物館所蔵



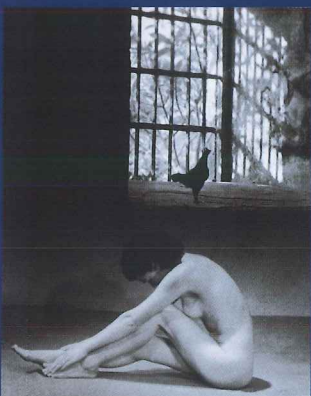
蘇州をゆく 1933 郎静山芸術文化発展学会所蔵



湖山風景 1995 国立歴史博物館所蔵



夕暮れの帰路 1933 国立歴史博物館所蔵



鶏鳴くとも起きず 1975 国立歴史博物館所蔵



夕陽の山を眺める 1980 台北市立美術館所蔵

観覧料 一般200(150)円・高大生150(100)円  
中学生以下無料

●( )内は20名以上の団体 ●以下を提示していただく常設展示の観覧料は無料になります。身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、福岡市発行のシルバー手帳、北九州市発行の年長者施設利用証、熊本市民または鹿児島市民で65歳以上が確認できるもの  
●この料金でアジアギャラリーAもご覧になれます。

#### 講演会

●10月15日(土)

郎毓文[ロン・ユーウェン](郎静山の娘、郎静山芸術文化発展学会)「郎静山～人と作品」 逐次通訳

●11月6日(日)

大島 洋(九州産業大学教授、写真家・評論家)

「芸術としての写真～世界写真史からみる郎静山」  
両日とも2:00-4:00 あじびホール(8階) 入場無料

#### ギャラリートーク

10月23日(日)、11月12日(土)、11月26日(土)

2:00-2:40 アジアギャラリーB(7階) 要観覧券

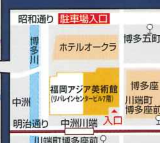
黒田雷児(福岡アジア美術館学芸員)

#### ◆会期中のコレクション展

「白と黒がつくる世界」(9/29~12/25)

アジアギャラリーA ※本展のチケットでご覧になれます。

「韓国ビデオアート」(9/1~12/25) 美術情報コーナー 入場無料



#### 交通案内

市営地下鉄

■中洲川端駅下車、6番出口すぐ ■福岡空港駅より9分

■博多駅より3分 ■天神駅より1分

西鉄バス

■川端町博多駅前バス停下車すぐ

※「グリーン」バス 博多駅-福岡アジア美術館前下車すぐ

車

■大宰府方面から 都市高速千代ランプより車で約7分

■北九州方面から 都市高速呉服町ランプより車で約5分

※昭和通りより、博多リバーライン地下の駐車場(有料)をご利用ください。

By City Subway

■The Museum is located above Nakasu-Kawabata Station # 6 Exit.

■From Fukuoka Airport Station: 9 minutes

■From Hakata Station: 3 minutes ■From Tenjin Station: 1 minute

By Nishitetsu Bus

■Kawabata-machi Hakataza-mae bus stop

By Car

■From Dazaifu: 7 minutes from the Chiyo Ramp on the Urban Expressway

■From Kitakyushu: 5 Minutes from the Gofukumachi Ramp on the Urban Expressway

★Entrance of Hakata Riverain Bldg. underground parking is on Showa-dori.

**福岡アジア美術館**  
Fukuoka Asian Art Museum

福岡市博多区下川端町3-1 リバーラインセンタービル7・8階

7, 8th Floor, Riverain Center Bldg.,

3-1 Shimokawabata-machi, Hakata-ku, Fukuoka, Japan

Tel 092-263-1100 Fax 092-263-1105

http://faam.city.fukuoka.lg.jp